中古文学会 2021 年度春季大会 開催案内

【重要】 会員のみなさまへ

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、本大会は下記の点で従来とは異なります。ご理解を賜わりますようお願い申し上げます。

1．開催日程を２日間から１日間に短縮。
2．参加は会員のみ。事前申し込み者に限定。当日受付および会員外参加は不可。
3．参加費は（発表資料１冊含む）500 円。
4．懇親会の中止。
5．会場校による弁当の斡旋の中止。
6．委員等選挙に係る投票方法の変更（オンライン投票の実施）→下欄参照
7．シンポジウム・研究発表の会場映像を、学会公式サイトから後日配信予定。

また、大会参加に際しては、以下についてご協力ください。

1．体調が優れない場合は、来場をお控えください。
2．会場内ではマスクの着用と手指消毒の徹底をお願いいたします。
3．昼食会場での歓談はご遠慮ください。休憩会場は昼食会場とは別に設けます。

なお、今後の状況によっては開催形態等を変更する場合もあります。最新情報は学会公式サイトを通じてお知らせしますので、本件に係る事務局・会場校への個別の問い合わせはお控えくださるようお願い申し上げます。

中古文学会事務局

委員等選挙に係る投票方法の変更（オンライン投票）について

投票機会の拡大と選挙管理事務の簡素化を目的として、従来は春季大会会場で実施していた記述投票を、オンライン上で実施いたします。

オンライン投票期間（予定）　5 月 10 日（月）～5 月 14 日（金）

オンライン投票に係る詳細は、上記期間に登録メールアドレス宛てにお送りします。メールアドレスの新規登録（および変更）を、学会公式サイト「会員ページ」から 5 月 7 日（金）までにお済ませください。

中古文学会公式サイト　https://chukobungakukai.org/

学会事務局（info@chukobungakukai.org）からのメールを確実に受信できるよう、事前に指定受信の解除・セキュリティー設定の変更等をおこなってください。

上記期間中に学会事務局からメールが届かない場合は、下記へお問い合わせください。

中古文学会ポータルデスク　info@chukobungakukai.org

大会日程	**5 月 23 日（日）**9:50～17:30　〈受付〉9:30 開始 研究発表会、委員会、シンポジウムおよび総会
大会会場	**神奈川大学横浜キャンパス**　←「みなとみらいキャンパス」から変更されました。 〒221-8686　神奈川県横浜市神奈川区六角橋 3-27-1

大会参加要領

1. 大会参加費

・参加費（資料 1 冊含む）：500 円
・入金済み参加費の自己都合による返金、または他の参加者への付け替えなどには応じられません。

2. 申込方法

・本大会より出欠ハガキによる受け付けを廃止し、同封の振込用紙による入金をもって申し込みを承ります。必要事項をご記入の上、上記の額をご入金ください。
・加入者名　中古文学会 2021 年度春季大会準備室
・口座番号　00100-3-768576

3. 申込締切

2021 年 4 月 23 日（金）
・締め切り後の入金は固くお断りいたします。

4. 住所・所属等の変更

・住所・所属等の変更は、学会公式サイトの「会員ページ」をご利用ください。同封の振込用紙に記載されても、変更は承れません。

5. 学会費の納入

・同封の振込用紙は【大会参加費専用】です。学会費は納入できません。また、大会会場での学会費納入は受け付けません。

6. 出張依頼状

・氏名・職名・提出先（所属長名）を明記の上、ポータルデスクへメールでお申し込みください。

7. 会場について

・キャンパス内は全面禁煙です。
・駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
・大会期間中学内の食堂は営業していません。あらかじめ各自ご用意ください。

8. 宿泊について

・必要に応じて各自でご予約ください。

9. 交流広場（フリースペース）

・以下の要領で交流広場を開設します。研究者相互の交流・情報交換の場としてご活用ください。なお、会場の都合により開設できない場合がありますので、申し込みを検討される方は、大会準備室までお問い合わせください。

用途：博士論文要旨・論文抜刷・研究プロジェクト報告書等の展示や配布、研究会・学会等の紹介、会誌等の展示や配布・販売など。
資格：本学会員に限る。団体の場合は、本学会員が代表者であること。
申込：氏名（団体の場合は団体名および代表者名）・連絡先の住所・電話番号・メールアドレス・展示物等の内容について、4 月 30 日（金）までに大会準備室へメールでお申し込みください。
注意：スペースに限りがあるため、申し込み先着順で受け付けます。
広場には、机と椅子を用意します。それ以外の対応はしません。
当日は、受付で利用手続きをしてください。
交流広場は大会開催中開場します。利用時間は任意です。
出品物の持ち込みは各自で行い、終了後はすべて持ち帰ってください。

10. 臨時託児室

・本大会では開設しません。

11. 問い合わせ先　・大会全般に関すること

中古文学会事務局
〒480-1197 愛知県長久手市片平 2-9　愛知淑徳大学文学部　久保朝孝研究室内
TEL：0561-62-4111（代表）　E-mail：info@chukobungakukai.org

・出張依頼状、オンライン投票に関すること

中古文学会ポータルデスク
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-44-11 株式会社新典社内
TEL：03-3233-8052　E-mail：info@chukobungakukai.org

・参加申込、参加費納入、会場、交流広場に関すること

中古文学会 2021 年度春季大会準備室
〒194-0013　東京都町田市原町田 2 丁目 22－30 コナ・ヴィレッジ町田 1002 号
TEL：090-8597-6950
神奈川大学国際日本学部　深澤徹研究室
E-mail：t-fukazawa@kanagawa-u.ac.jp

＊問い合わせにはできるかぎりメールをご利用ください。

大会プログラム

5 月 23 日（日）

09:30	**受付開始**
09:50-10:00	**開会の辞**　神奈川大学外国語学研究科委員長　深澤　徹
10:00-12:00	**研究発表会**
	『源氏物語』における人物の美的表現「きよら」「きよげ」再考 同志社女子大学〔院〕　岸　ひとみ
	『源氏物語』の欠如と余剰―国冬本源氏物語匂宮巻と『雲隠六帖』の関係を中心に― 大東文化大学〔非〕　越野　優子
	『源氏物語』浮舟の「手習」の諸相　学習院大学〔院〕　増田　高士
12:00-13:00	**委員会**
13:30-16:40	**大会企画　シンポジウム「リベラル・アーツとしての古典研究の可能性」**
	趣意説明・ディスカッサント　神奈川大学〔教〕　深澤　徹
	基調報告１「“発見の物語”を越えて」　明星大学〔教〕　前田　雅之
	基調報告２「古典の翻案の可能性―実践者の立場から」 川村学園女子大学〔教〕　千野　裕子
	基調報告３「これからの日本古典籍研究のビジョンをめぐって」 早稲田大学〔教〕　河野貴美子
	……休憩（14:55-15:25）……
	パネリスト討議　〈司会〉桐朋女子高等学校音楽科〔教〕　西野入篤男
	フロアとの質疑応答
	……休憩（16:40-16:50）……
16:50-17:20	**総会**
17:20-17:30	**閉会の辞**　中古文学会代表委員　久保　朝孝

＊〔教〕専任教員、〔非〕非常勤教員、〔院〕大学院学生

研究発表要旨

『源氏物語』における人物の美的表現「きよら」「きよげ」再考

同志社女子大学〔院〕　岸　ひとみ

『源氏物語』における「きよら」「きよげ」という語句は、従来から、会話文・心内文・地の文・草子地を区別せずに、主としてそれらの語に隣接する語句や、どの人物に対して使用されているかに着目して論じられ、両語を血統や身分で区別して、「きよら」を一級の美として「光源氏型」、「きよげ」を二級の美として「頭中将型」であると捉えるのが定説となっている。

しかし、会話文では、話し手が聞き手を意識して意図的に使用されることが多い。語り手が「きよら」「きよげ」と記す場合は、物語の中で客観的なものであるが、登場人物がそのように感じた場合には、その人の思いが入り、主観的なものとなる。

そこで、本発表では、人物に対する「きよら」「きよげ」という美的語彙を、会話文以外において、語り手を含む、そのように表する人物の視点を基準に論じることを試みる。語り手が「きよら」「きよげ」をどのように描き分け、作中人物の主観がいかなるものであるか。「きよら」の人に対して「きよげ」、「きよげ」の人に対して「きよら」と形容されている、例外的使用の美的語句がどういう意味を持つのか。

「きよら」には、絶対的「きよら」と相対的「きよら」が存在し、「きよら」という語は、単なる美的語彙にとどまらず、語り手視点の「きよら」には、物語を展開に影響を与える力があり、作中人物視点では、その人の心を動かしていく機能を持つことを明らかにしたい。

『源氏物語』の欠如と余剰―国冬本源氏物語匂宮巻と『雲隠六帖』の関係を中心に―

大東文化大学〔非〕　越野　優子

作者自筆本の無い『源氏物語』において、現在読んでいるものはあくまでも『源氏物語』と認定されているものに過ぎない。さてこの物語の従来の研究のあり方を振り返ると、本文研究の視点の範囲は『源氏物語』それ自体の枠内に留まり、続編・外伝等は中世物語研究の枠内で行われてきたのが大方の傾向であった。但し加藤昌嘉が「作中人物の連関があれば、すべて『源氏物語』と認めてよい」（注1）と述べた如く、如何なる組み合わせもその連結する証拠があれば可能となると考える。

この度発表者は作品内外の枠を取り払い、『源氏物語』の別本・国冬本と続編的な作品『雲隠六帖』（室町期成立・作者未詳）について、前者（国冬本）の欠如と後者（『雲隠六帖』）の余剰を本格的に考察したい（注2）。「幻」巻巻末「ついたちのほとの事つねよりことなるへくとをきてさせ給みこたち大臣の御ひきいて物しな／＼のろくともなとになうおほしまうけてとそ」（国冬本）に続き「匂宮」巻冒頭で始まらない国冬本『源氏物語』と、題名だけでなく「かくてむ月の御こゝろおきてなと」（「雲隠」巻）以降の世界をもつ『雲隠六帖』が織りなす世界について論じ、『源氏物語』のもつ豊かな可能性を問いたいと考えている。

注1　加藤昌嘉(2011)「散逸「巣守」巻をめぐって」『揺れ動く源氏物語』勉誠出版,244p

注2　越野優子(2020)「『源氏物語』と異本」（『ユリイカ』No.767,vol.52-15）で概要を一部述べた。

『源氏物語』浮舟の「手習」の諸相

学習院大学〔院〕　増田　高士

『源氏物語』には手習する女性たちが登場するが、その中でとくに印象的なのは紫の上と浮舟であろう。紫の上は「若菜上」巻において、「古言」を書き綴る形で手習する場面がある。浮舟については古注釈以来の「手習の君」という呼称がその重要性を物語っている。

先行論においても、両者の手習が取り上げられることが多く、紫の上の手習の延長上に浮舟の手習を位置付ける論がある。たしかに両者は自身の抱えるもの思いを手習するという点が共通するものの、両者の手習の様相を同質のものとして架橋することが適切であろうか。「若菜上」巻の紫の上の手習は、自身が抑圧した不安や苦悩を手習の方が却って正直に教えてくれたというものであったが、浮舟と手習との関係は紫の上のそれとは異質ではないだろうか。

本発表ではこのような問題提起をした上で浮舟の手習を主に扱うが、手習した人物と書かれたものとの関係に注目しながら考察する。具体的には、「浮舟」巻、「蜻蛉」巻、「手習」巻の三巻でそれぞれ異なる浮舟の手習の様相を検討する。浮舟は「浮舟」巻で自身の「身」を「憂し」と意識することが多く、そのような意識との関連を手がかりにして手習を分析する。それをふまえて「蜻蛉」巻、「手習」巻の手習にはどのような特徴があるのかについても検討する。紫の上との相違点を指摘するにとどまらず、浮舟の手習の固有性を明らかにしたい。

大会企画　シンポジウム「リベラル・アーツとしての古典研究の可能性」

趣意説明・ディスカッサント	神奈川大学〔教〕	深澤　　徹
基調報告１	明星大学〔教〕	前田　雅之
基調報告２	川村学園女子大学〔教〕	千野　裕子
基調報告３	早稲田大学〔教〕	河野貴美子
討議	〈司会〉桐朋女子高等学校音楽科〔教〕	西野入篤男

〔趣意〕

本シンポジウムは、中古文学研究の立場からする、「古典」とは何かについての根源的な問いかけを意図している。「古典」は「古典」として既にあるのではない。それを「古典」として維持し、継承していく人びとの、たゆみない努力なくして「古典」は「古典」たりえない。この自明の事柄を、いわゆる「リベラル・アーツ」の営みとの関連で明らかにしていきたい。

「一国二制度」に基づく高度な自治を否定されてしまった「香港」や、独裁的な権力者による言論弾圧のいまだ続く「ベラルーシ」の事例に見てとれる昨今の国際情勢にかんがみ、自由平等の「市民社会」を今後とも維持していくためには、いわゆる「リベラル・アーツ」がどうあっても欠かせない。「表現の自由」と「基本的人権」を根幹にすえる民主主義社会を今後も死守し、次世代へと継承していく上で、その重要性は、ますます高まる。

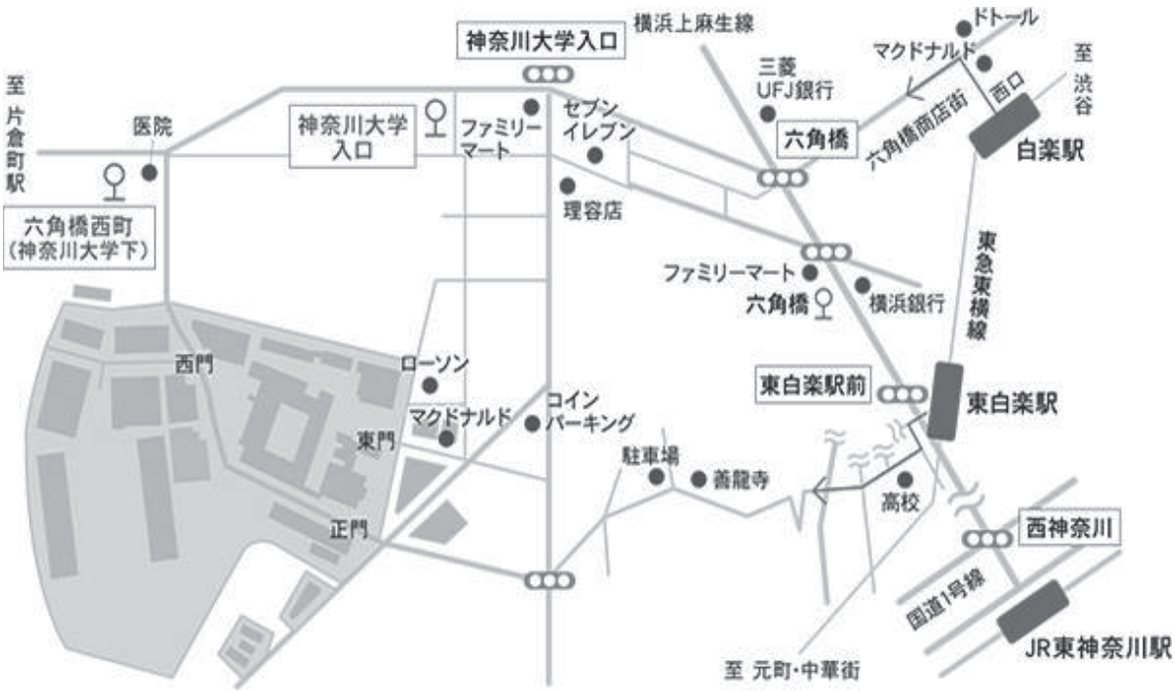
にもかかわらず、「リベラル・アーツ」の必要性に対する意識は、ここ日本では極めて低調である。1991年の「大学設置基準」の大綱化以降、教養教育課程（一般教育課程）の軽視と、その削減の動きが、各大学で進行した。日本の高等教育機関（大学）において、従来「リベラル・アーツ」の役割を担ってきたのは「教養学部」や「文学部」、「文理学部」や「人文学部」などであった。だが、そうした「リベラル・アーツ」を主体的に担う学部は、時代のニーズに応ええないとして次々と改組される傾向にあり、国公立大学に至っては、教員養成系や人文・社会系の学部の廃止までが取りざたされている。カントのいう「諸学部の争い」さながら、教養教育課程の諸機能は、いままさに解体の危機にさらされている。そうした趨勢にあらがって、「リベラル・アーツ」の重要性について、さらなる注意喚起を行う上で、本シンポジウムは大いに資するところあるものと自認する。

まず確認しておきたいのは、近代以前の古文（古典語）で書かれた、過去の古いテクストだから「古典」なのではない。時代を問わず、地域を問わず、古今東西にわたり普遍的な価値を有するものが「古典」なのである。ただし、自由と民主主義、さらにはリベラル・アーツそれ自体をも含めて、なにをもって普遍的価値とするかは立場によって異なる。かくして〈正統〉と〈異端〉、〈真理〉と〈虚偽〉、〈正義〉と〈不正義〉、〈美〉と〈醜〉などをめぐってのイデオロギー闘争のアリーナとも「古典」はなりうる。そうした「古典」をめぐるヘゲモニー争いの熾烈なバトルに積極的に参画し、キリスト教文化圏の西欧や、儒教文化圏の中国に依存するのではない、日本発の「古典」を、どのように立ち上げていったらいいのか。

ついては広く世界の趨勢を視野にいれ、その動向を多分に意識しての、活発な議論の展開されんことを、本シンポジウムにおいて大いに期待したい。

［文責：深澤徹］

交通アクセス・神奈川大学横浜キャンパス 周辺マップ



横浜キャンパスマップ

① 東急東横線「白楽駅」または「東白楽駅」下車 徒歩 13 分

② 横浜駅西口バスターミナルから横浜市営バスを利用(東神奈川駅西口経由／約 14 分)

・1 番乗場 36 系統 菅田町／緑車庫前行(約 14 分)「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

・1 番乗場 82 系統 八反橋／神大寺入口行(約 14 分)「神奈川大学入口」または「六角橋西町」下車

③ 片倉町駅前(横浜市営地下鉄)より横浜市営バス利用(約 6 分)

・2 番乗場 36・82 系統 東神奈川駅西口／横浜駅西口行(約 6 分)「六角橋西町」または「神奈川大学入口」下車

10 号館
3 階 書籍販売・交流広場
(学生ラウンジ)
4 階 メイン会場(10-41)

7 号館
3 階 昼食会場(7-34)
4 階 休憩会場(7-44)
委員会会場(7-41)

＊使用教室を変更する場合があります。